

2023年5月24日

株式会社ユカリア

株式会社社会情報サービス

ユカリア、社会情報サービス

電子カルテデータを活用したマーケットリサーチ結果を発表 ～実験調査ではカルテ症例を見て8割の医師が治療選択肢を変更～

株式会社ユカリア（本社：東京都千代田区、代表取締役：古川淳）と株式会社社会情報サービス（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：牧田孝）は、ユカリアが経営支援しているパートナー病院で匿名加工処理された約60万件の電子カルテデータを統合した「ユカリアデータレイク」のデータを活用したマーケットリサーチ手法の研究開発を共同で進めています。

トライアルプロジェクトの第一弾となる今回の調査結果の詳細を、2023年5月30日開催のシンポジウム「心不全治療実態把握の最新アプローチ」にて発表します。



■調査の目的、概要

本調査では、一般的な調査手法と電子カルテデータを活用した調査手法の回答傾向の違いを探ることを目的として、慢性心不全を診療している病院勤務医（循環器内科または一般内科）を対象にインターネット調査を2023年4月14日～17日に実施して132名から回答を得ました。

「慢性心不全の標準的な治療を受けているがコントロール不良な患者」の次治療の選択について、一般的な患者タイプを提示した場合と、「ユカリアデータレイク」より取得した実際の症例の電子カルテデータを開示した場合、それぞれについて回答を求め、治療選択の違いや異なる治療選択を行った理由について分析しました。

【次治療選択の違い】

一般的な患者タイプを提示した場合と、実際の症例の電子カルテデータを開示した場合では、HFrEF（heart failure with reduced ejection fraction：心不全）患者で80%の医師が異なる治療選択を行いました。

【治療選択の内訳】

HFrEF患者では、一般的な患者タイプの場合SGLT2阻害薬(68%)、MRA(48%)、ARNI(46%)などを選択する医師が多かったのに対し、電子カルテデータを開示した場合SGLT2阻害薬(70%)、バズブ

レシン拮抗薬(58%)、ARNI(45%)などを選択する医師が多くいました。

一般的な患者タイプの場合と比べて、電子カルテデータを開示した場合には、バソプレシン拮抗薬が 30 ポイント増加した一方、MRA は 18 ポイント減少という結果になりました。

【異なる治療選択を行った理由】

HFrEF 患者で一般的な患者タイプを提示した場合と実際の症例の電子カルテデータを開示した場合で治療選択が異なったのは、電子カルテデータの「過去の処方薬の効果(51%)」、「検査値の推移(42%)」、「治療経過から予想される現在の処方薬の効果(42%)」に着目したから、との回答を得ました。

医師を対象とした市場調査では、ある疾患全体の薬剤シェアを把握するために患者タイプ別の薬剤処方患者数を問う手法が一般的ですが、実臨床では、医師は患者一人一人の詳細な検査値や経時的な変化にも着目して治療選択を行っています。

本調査結果からは、市場調査において実症例の電子カルテデータを開示することで、医師の治療選択のマインドをより深いレベルで理解できることが示唆されています。

■5月30日 シンポジウム「心不全治療実態把握の最新アプローチ」

日時： 2023年5月30日(火) 17:00~20:00 (開場 16:30)

会場： 東京大学 伊藤謝恩ホール

所在： 東京都文京区本郷7-3-1

対象： 製薬企業にお勤めの方、アカデミアにお勤めの方、医療データ分析にご関心のある方
(参加無料)

申込： <https://230530shinfuzen-eucalia.peatix.com/view>

プログラム：

第一部

17:00~ 基調講演 心不全治療における中小病院の役割
順天堂大学医学部循環器内科学講座 准教授 末永 祐哉 先生

17:40~ 個別講演①
マーケットリサーチにおける電子カルテデータの活用～インサイトワークの視点から～
株式会社社会情報サービス インテグレイティドビジネスインテリジェンス部 主査

池田 俊介

18:20~ 個別講演②
心不全患者像と治療薬の選択状況 ～電子カルテでわかること～
株式会社ユカリア データインテリジェンス事業部 マネージャー 塩井 大智

第二部 19:00~20:00

情報交換会

ポスター展示(「ユカリアデータレイク」に基づく治療・処方実態分析事例を中心とした展示)

■「ユカリアデータレイク」について

データレイクとは、大量の構造化データ、半構造化データ、非構造化データを保存、処理、保護するための、一元化されたりポジトリ（格納場所）のことです。

当社独自の「ユカリアデータレイク」の特徴は、定量的なデータだけでなく定性的なテキストデータを分析に用いることができる点です。医師の診察時の所見記録や、病棟で患者に長時間接しケアを行う看護師の看護記録といった大量の定性情報から、患者の治療実態を多角的に把握することができます。

また、最長10年程度の長期間にわたり一人の患者の症状の変遷を参照できる点も特徴です。データ提供元の病院群は、急性期から回復期、慢性期、療養まで幅広い機能を有する市中の病院となっています。そのため継続的に通院する患者も多く、長期間の治療経過観察が可能です。

【株式会社社会情報サービス】

所在地 : 東京都新宿区富久町 10-5NMF 新宿 EAST ビル 2F、3F
事業内容 : 市場調査・世論調査の企画・実施・分析/市場調査・世論調査データの販売/コンピュータソフトウェアの企画・開発・販売/アンケート・統計データなど各種のコンピュータ入力・集計（データ処理）/インターネットサーバーのホスティング、ホームページの企画・製作・運営/データベースの作成・販売/マーケティング・コンサルティング
資本金 : 2,700 万円
ホームページ : <https://www.ssri.com/>

【株式会社ユカリア】

所在地 : 東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞が関ビルディング 19 階
事業内容 : 病院の経営・運営支援/医療周辺サービス事業/介護施設の運営
資本金等 : 3,868.2 百万円
ホームページ : <https://eucalia.jp/>

※社名変更および本社移転

2022年5月9日付で、社名を株式会社キャピタルメディカから株式会社ユカリア（英語名：EUCALIA Inc.）へ変更しました。また、同日に本社所在地を千代田区へ移転しました。詳細はプレスリリース (<https://capimedi.com/20220225pr/>) をご覧ください。

◎本件に関するお問い合わせ

株式会社社会情報サービス インテグレイティドビジネスインテリジェンス (IBI) 部

メール : event_202305@ssri.com

株式会社ユカリア コーポレートコミュニケーション担当 飯塚久美 電話 : 03-5501-2271 (代表)